

住設 DX を加速させる AI スキル可視化指標「mirAls（ミライズ）」を導入 「ツール導入」から「使いこなす組織」へ 全社員の AI 活用能力を 6 段階で定義し、業務を推進

住宅設備機器のインターネット販売を行う株式会社ミラタップ（所在地：大阪市）は、2026年5月より、全社員の AI 活用能力を 6 段階で可視化し、育成する独自の指標「mirAls（ミライズ）」の運用を開始しました。

本制度は、AI 技術を特定の部門の専門領域とせず、全社員が AI を前提に業務を再設計する“AI ネイティブ”への転換を目的とした取り組みです。AI を“ツール導入”で終わらせず、組織全体の業務変革（DX）につながる基盤として推進してまいります。

■導入の背景：AI を「ツール」から「組織のインフラ」へ

当社は、AI 活用を経営戦略の柱として掲げ、全社一丸となって段階的に取り組みを推進しております。2025年には経営陣から AI 推進の方針を発信し、専任の AI プロジェクトを発足。2026年には最先端の AI ツールを導入し、全社員が活用できる体制を構築しました。同年4月には当社初の AI 社員「美楽 ニーナ」を採用し、「ウェルビーみのお HDC BOX」（大阪府箕面市）の展示スペースにおいて、完全無人での AI 接客を実現いたしました。このように、組織横断で AI 活用の取り組みを積み重ね、その領域を着実に広げており、当社では AI を特定業務を補助する「ツール」から、組織全体の業務プロセスを再設計する「インフラ」へと進化させつつあります。今後、真の業務変革（DX）を実現するためには、ツール導入だけでなく、社員一人ひとりが AI を自在に操り、業務プロセスそのものを再設計する力が必要不可欠です。

そこで当社は、AI 活用の範囲を現場業務から全社のあらゆる領域へと拡大すべく、AI 活用能力を客観的に評価・育成する共通指標「mirAls（ミライズ）」を策定し、組織全体の AI リテラシー向上を経営課題として推進することを決定いたしました。

■AI スキル指標「mirAls（ミライズ）」の概要

mirAls（ミライズ）は、全社員の AI 活用レベルを可視化し、組織全体の AI 活用力を底上げすることを目的とした、ミラタップ独自の共通指標です。「mirAls」は、**miratap AI score** の略称であり、組織と個人が AI と共に歩む「未来図」を描くという意味が込められています。

本件に関する報道の皆様からのお問い合わせ

株式会社ミラタップ マーケティング課 広報チーム 新美紅
email：pr@miratap.co.jp TEL：06-6359-4772 FAX：06-6359-6651

1. 組織目標：全社の AI 活用度の指標

全部署を対象に、AI 活用の成熟度を LEVEL0（未着手）から LEVEL5（自律進化）までの 6 段階で設定します。

LEVEL 0	LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	LEVEL 4	LEVEL 5
未着手	全身体験	業務分解・優先度設計	組み込み運用+ ヒューマンインザループ※	高度最適化	自律進化
AI活用が未着手/限定的	AIツール利用が 部署全体に到達	AI適用領域が 特定・設計	AI活用が実装・定着	AI活用により生産性 が構造的に変化	部署が自律的にAI活用 を進化させ続ける状態

LEVEL 0【未着手】

AI 活用の整備・利用が未着手/限定的な状態。

LEVEL 1【全身体験】

全メンバーが AI ツールに触れ、活用の裾野が広がった状態。

LEVEL 2【業務分解・優先度設計】

業務フローの AI 適用領域が特定・設計された状態。

LEVEL 3【組み込み運用+ヒューマンインザループ※】

分解した業務フローに AI 活用が実装・定着した状態。

LEVEL 4【高度最適化（高カバレッジ）】

AI 化可能な業務の大半が AI に移行し、課の生産性が構造的に変化した状態。

LEVEL 5【自律進化】

AI と人が適切に役割分担しながら、業務高度化を継続的に推進できる状態。

2. 個人目標：各個人の AI スキルの指標

部署や職種ごとに 6 つの Zone に分類。各 Zone ごとに求められる AI 活用の役割を 6 段階で明確化し、全社員の AI 活用能力を段階的に引き上げていきます。

Zone M	Zone B	Zone P	Zone S	Zone MG	Zone Y
マーケティング部門	管理部門	商品企画・開発部門	販売・海外・住宅部門	管理職	一般職・契約社員
外部発注を踏まえた品質と、勝ちパターン標準化。	正確性、コンプライアンスを担保する精度の高いAI活用。	オフライン、オンラインを横断したハイブリッドなAI活用。	各人の業務にAIが自然と組み込まれた状態の確立。	AIの全社推進。各組織のAIスキル向上を牽引する。	分からない事はAIへ聞くを第一選択股へとする。

■今後の展望：レガシーな住設業界の DX を牽引

当社は、この「mirAIs」を通じて、定型業務の比率を大幅に削減し、人間が「企画・判断・創造的業務」に集中できる環境を構築します。AI 活用を個人のスキルに依存させるのではなく、組織の標準（インフラ）とすることで、アナログな慣習が残る住設業界において、圧倒的な生産性と付加価値の創出を目指してまいります。

注意事項

- ・本制度は、当社独自の指標であり、社内の AI 活用推進および人材育成を目的としたものです。
- ・AI 技術の導入にあたっては、情報の正確性の担保およびコンプライアンスの遵守を前提とした「ヒューマンインザループ（人間による最終確認）」の運用を徹底しております。

■ミラタップについて

ミラタップは「くらしを楽しく、美しく。」を经营理念に、住宅設備機器・建築資材の企画開発・輸入・販売と、理想の家づくりのサポートをしています。ミニマリズムをコンセプトにデザイン性の高い商品を販売チャンネルに関わらず同一条件・同一価格で提供。ダイレクト販売により建材価格の透明性を確保し、ワンプライスカつ適正価格で展開しています。また、デザイン性の高い戸建て住宅を提供する《ASOLIE》や、理想の家づくりを希望するお客様と専門家をつなぐマッチングプラットフォーム《SUVACO》を通じて、「モノではなく空間を提供する」というビジョンの実現に取り組んでいます。

会 社 名：株式会社ミラタップ

本 社 所 在 地：〒530-0011 大阪市北区大深町 5 番 54 号 グラングリーン大阪南館ゲートタワー13F

設 立：1979 年 8 月 22 日

代表取締役社長：山根 太郎

事 業 内 容：住宅設備機器・建築資材の企画開発・輸入・販売、住まいづくりの総合支援

株 式 市 場：東証グロース（証券コード 3187）

シ ョ ー ル ルーム：東京、大阪、仙台、名古屋、京都、福岡、

横浜（スマートショールーム）、札幌（スマートショールーム）